

講義名	経営管理論B（マーケティング学科：2年生+3年生以上）			授業形態	
担当教員	長田 貴仁	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

主題：起業家（企業家）の実像と起業の現実  
概要：分かり易く言えば「起業」に関する授業である。起業家に少しでも興味があれば受講し、そのアングルから「経営管理」を学んで欲しい。  
「起業」は、今や特別な人のものだけではなく「日常」になってしまった。  
起業力は「独立型起業家」だけに求められる資質ではない。今や、会社に就職した後、サラリーマンを続ける中で、起業力に磨きをかけ独立しようとする人、社内で新規事業を起す「社内起業家」、そして、親の事業を単に継承するだけでなく、新たな現代ビジネス創造型の「後継者」などにも、起業力が不可欠になってきた。こうした現代ビジネス潮流に対応するために、本講義では、幅広いニーズに応えられるように内容をアレンジして「アントレプレナーシップ」を教授する。

### 到達目標

1. 「起業」および「起業家（企業家）」に関する知識が深まる。
2. 独立するだけでなく、企業に就職しても求められる「事業構築力」を磨ける。
3. 起業家（企業家）の実像を知ることができる。

### 提出課題

適宜指示する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

0&Aタイムを設け、質疑応答する。

### 評価の基準

期末レポート50%、質問力・発言内容・受講態度（50%）  
本講義は、受講態度を含めて、現代ビジネス社会の評価基準に準じる。  
良い結果を出した人は高く評価する。  
1. 「0&Aタイム」で積極的に発言するなど、「ネアカのひのびへこたれず」の精神を体現し、組織（クラス）のモチベーションを高める前向きな姿勢を見せた人は努力点として加点する。  
2. 他の科目と同様、出席は当たり前。無断欠席は減点。欠席する場合は、大学の規則に従い、証明書類を事前に提出せよ。  
3. 出席し（特に欠席等）、私語など、組織（クラス）のモチベーションを落とす迷惑行為、業務（授業）を妨害する行動、発言については、始末書の提出を求める場合がある。その結果しだいで、大幅減点になることを認識し「成人（18歳以上）としての行動」を心掛けて欲しい。意見、反論を述べるときは、学術の場にふさわしい論理的語法を遵守すること。  
4. レポート執筆で、他者に相談をしたり、少しでも同様の内容を真似た場合は、関係者全員を不正行為と見なす。未提出者は「放棄」として扱う。

### 履修にあたっての注意・助言他

1. 原則として、1回につき、1座分の内容を講義する。テキストの予習、復習を欠かさないこと。ただ座り、ボーと聞いているという態度は議んで欲しい。講義中はノートに記す作業を怠らないこと。
2. 当日、「日本経済新聞」（電子版も可）を読むこと。「日経ビジネス」、「東洋経済」、「タイムズ」、「エコノミスト」などのビジネス週刊誌も定期的に目を通しておき、常に「情報武装」しておくことが望ましい。
3. テーマを決め、それに関する記事をスクラップブックに貼り（デジタル処理してもいい）、熟読し関連情報を調べること。

### 教科書

.1からのアントレプレナーシップ.	山田 幸三/江島 由裕【編著】	中央経済社	2,400円	9784502222818
-------------------	-----------------	-------	--------	---------------

### 参考図書

--	--	--	--	--

### その他

適宜配布する。

### 授業計画

1. 「社長に経営学など必要ない。」は本当ですか。
2. 「社長は金の亡者」なのでしょうか。
3. 「世の中はきれいごとじゃないんだ。」と言っている社長は成功しますか。
4. 廣毛、私を「起業家」になれますか。
5. サラリーマンになると起業できないのでしょうか。
6. 在学中に「起業家」になってみませんか。
7. 自分に興味しない」という気持ちばかりですが、甘くはないぞ。
8. 会社を創設するだけなら力でもできる。持続的に成長させるにはどうすればいいのですか。
9. 会社をつくるだけなら力でもできる。持続的に成長させるにはどうすればいいのですか。
10. 「儲かる会社」を実現するには誰と付き合えばいいのですか。
11. 自分（自社）の長所に気づいていないのは人も会社も同じ。
12. 「長続きしている会社」の良し悪し。
13. 「あの人は...人だから」などと言っている時代ではありません。
14. 海外進出しにくい会社は、生き残れないのですか。
15. 「エコシステム」って聞くけれど、環境問題のこと？

（注）以上の各項目はテキストに準じているので、自主的に予習、復習して欲しい。限られた講義時間を有効に使うため、テキストの説明は最小限に抑える。その他の時間は、テキストの内容に留まらず、経営管理に関する時事的なテーマについて質疑応答を行い、聞いているだけの授業で終わらさないようにしたい。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
----------------	--

ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
------------------	-----------

オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
-------------	---------------

キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
---------------------------------------	--

### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：2時間＝テキストをどんだん読み進めること。  
復習：2時間＝講義中にメモした内容とテキストの内容を合体させ、「自分ノート」に記し、編集すること。  
毎日、「日本経済新聞」（電子版も可）を読むこと。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

1. 企業家（経営者）の視点から、マーケティングも含めた全社戦略を理解、構築できる。
2. マーケティングだけでなく知らない「経営音痴」にならないようにする。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験あり。著名経営者やビジネスマン、技術者にインタビュー、執筆、編集した経験をもとに、現代ビジネスの実態について言及し、経営学とジャーナリズムの観点から理論的・実践的知識を教授する。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。著名経営者やビジネスマン、技術者にインタビュー、執筆、編集した経験をもとに、現代ビジネスの実態について言及し、経営学とジャーナリズムの観点から理論的・実践的知識を教授する。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。

### 備考

ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助（准）教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えるようになりました。その中には現役社長も数名いらっしゃいました。これまで、ニューヨーク駐在の他、世界各国で多くの企業エグゼクティブを取材してきました。経営学とビジネス・ジャーナリズムを融合した視座から論考したオピニオンを、学界（学会）に留まらず広く社会に向けて、分かり易い言葉で発信し続けています。ジャーナリズムを知る経営学者、経営学を知るジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し、コメントを発信しています。私の最大の特徴は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する経営者たちと実際に対話してきたことです。そこから得た知見を生かし、「生きた経営学」を教授したいと考えています。